

山梨学習センター

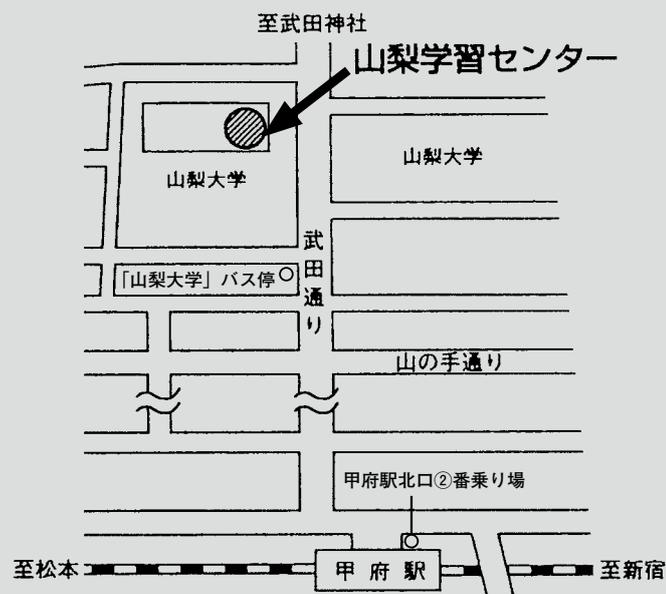
〒400-0016 甲府市武田4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)
TEL. 055-251-2238

開所時間

面接授業開講日：9：10～17：40

授業概要・時間割表

- JR中央線甲府駅北口から徒歩20分
- 甲府駅北口バス停2番乗り場から「武田神社行」又は「積翠寺行」バスで「山梨大学」下車 徒歩1分 (所要時間5分)



【開設科目・開講日一覧】

開設センター	科目区分	科目名	担当講師	科目コード	クラス	定員	4月			
							18日	19日	25日	26日
							土	日	土	日
山梨学習センター(19A)	基盤科目	新・初歩からのパソコン	服部 元信	2679019	K	5				
	基盤科目：外国語	ことばで味わう中国文化入門	封 蓉	2684454	K	20				
	基盤科目：保健体育	根拠に基づく健康寿命延伸法	安藤 大輔	2684462	K	20				
	導入科目：人間と文化	美術史の中のミレーとバルビゾン	太田 智子	2684470	K	20				
	導入科目：人間と文化	日本語学への招待	仲本康一郎	2684489	K	20				
	導入科目：人間と文化	英語基礎－適正学習法開発－	古家 貴雄	2684500	K	40				
	導入科目：人間と文化	現代からみる仏教	望月 海慧	2684497	K	35				
	専門科目：心理と教育	スクールカウンセリング	田中健史朗	2684527	K	40	1～4 時限	1～4 時限		
	専門科目：心理と教育	昔話から学ぶユング心理学演習	吉川 眞理	2684535	K	40	1～4 時限	1～4 時限		
	専門科目：心理と教育	心理学実験1	酒井 厚	2679183	K	20				
	専門科目：心理と教育	心理学実験2	小野田亮介	2679221	K	15				
	専門科目：社会と産業	社会経済の基礎	松原隆一郎	2684543	K	40				
	専門科目：人間と文化	手書き文字の整え方	清水 文博	2684551	K	20			1～4 時限	1～4 時限
	専門科目：社会と産業	新・組み込みロボット入門	鳥山 孝司	2684519	K	16				
	専門科目：情報	POV-Rayプログラミング	鈴木 一史	2681307	K	20				
	専門科目：自然と環境	初歩の気象学	小林 拓	2684560	K	20				
専門科目：自然と環境	形と働きの関係から蛋白質に迫る	大山 拓次	2684578	K	30					

5月								6月								7月				開設センター
9日	10日	16日	17日	23日	24日	30日	31日	6日	7日	13日	14日	20日	21日	27日	28日	4日	5日	11日	12日	
土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	
						1~4 時限	1~4 時限													
																1~4 時限	1~4 時限			
																		1~4 時限	1~4 時限	
1~4 時限	1~4 時限																			
		1~4 時限	1~4 時限																	
														1~4 時限	1~4 時限					
				1~4 時限	1~4 時限															
						1~4 時限	1~4 時限													
														1~4 時限	1~4 時限					
								1~4 時限	1~4 時限											
												1~4 時限	1~4 時限							
		1~4 時限	1~4 時限																	
								1~4 時限	1~4 時限											
												1~4 時限	1~4 時限							

山梨学習センター(19A)

面接授業概要

科目コード	2679019	授 業 概 要	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWifiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようにする。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
科目名	新・初歩からのパソコン		【受講前の準備学習等】 「学生生活の架」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。
科目区分	基盤科目		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況および授業終了後のレポートの評点により行います。特に、授業前と後のパソコンスキルの伸びを重視します。
ナンバリング	110		【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物が結構です。）学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。
定員	5名		【教科書】 新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）授業当日に配付します。
担当講師	ハトリ モトノブ 服部 元信 (山梨大学・教授)		【参考書】 新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。
日程 実施時間	5月30日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月31日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入力方法は授業で説明します。「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2684454	授 業 概 要	【授業内容】 中国語の初学者を対象に、「ことば」と「食文化」をテーマとして、語学と文化を体験的に学ぶ入門講座です。あいさつや基本的な表現をはじめとした初歩的な中国語にふれながら、料理や食材に関する語彙や表現も学習します。さらに、調理体験や簡単な実践活動を通して、中国の食文化の背景や日常生活との関わりについても理解を深めます。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ・中国語の基本的なあいさつや表現を理解し、簡単な会話ができるようになる。 ・中国の食文化や料理に対する理解を深める。 ・料理の中で使われる表現を学び、実際の場面で使えるようになる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 中国の概要と文化背景の紹介 第2回 中国語のあいさつと簡単な会話表現 第3回 中国の食文化について学ぶ 第4回 レシピをもとに料理に関する語彙と表現を学習 第5回 調理実習①：中国料理「エビチリ」、「地三鮮」 第6回 調理実習②：中国デザート「杏仁豆腐」及び食事体験 第7回 中国語で味の表現 第8回 実践
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 第5回～6回は、グループ活動による調理実習を行います。食物アレルギーなどへの対応はできかねますので、ご了承ください。
科目名	ことばで味わう 中国文化入門		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	基盤科目：外国語		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	110		【受講者が当日用意するもの】 ・エプロン、三角巾、マスク、手拭き用タオル等の持参 ・2日目調理実習でのごはん（主食）について各自持参してください。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ホウ ヨウ 封 蓉 (創価大学・非常勤講師)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。 ・実施会場・時間等の詳細については、実施日1か月前ほど前に各受講生に郵送にて通知します。
日程 実施時間	7月4日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月5日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 識・レポート 16:05～16:50		
実施会場	山梨学習センター（第5回第6回は★甲府市北東公民館）		

科目コード	2684462	授 業 概 要	【授業内容】 「人生100年時代」の到来といわれる現代、長生きするのであれば健康で元気に楽しく過ごしたいと思う方が多いのではないのでしょうか。「人生100年時代」を豊かに生きるためには「健康寿命」を延ばすことが必要です。それではどうすれば「健康寿命」を延ばすことができるのでしょうか？その方法は日常生活の行動の中にあります。本講義では、科学的な根拠に基づき健康と生活習慣の関係を学ぶ中で、特に動くこと（身体活動）の重要性を認識することを目的とします。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ・平均寿命と健康寿命の違いを説明することができる。 ・科学的根拠について理解し、数多くの情報の中から適切な情報を判断できるようになる。 ・各種疾患の特徴とともに、それら疾患に関する科学的根拠に基づく具体的な予防方法について、説明することができる。 ・身体活動について理解を深め、日常生活における身体活動の重要性について、説明することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 健康寿命を左右する要因 第2回 がんを防ぐ方法 第3回 血管を若く保つ方法 第4回 高血糖を防ぐ方法 第5回 体脂肪を減らす方法 第6回 筋肉・骨を強くする方法 第7回 認知機能を保つ方法 第8回 人生をアクティブに！
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 一方的な講義形式ではなく、質問をしながら講義を展開していきます。
科目名	根拠に基づく健康寿命延伸法		【受講前の準備学習等】 事前学習として、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に、自らの生活習慣を振り返り、その生活習慣と各種疾病（がん、循環器疾患、糖尿病、骨粗鬆症、認知症等）との関係を整理しておいてください。なお、事前学習を重点的に行い、事後学修としては、講義内容を元に授業で学修した内容を中心に復習することで理解を深めてください。
科目区分	基盤科目：保健体育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	120		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート等
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	アンドウ ダイスケ 安藤 大輔 (山梨大学大学院・准教授)		【参考書】 ・運動生理学 生理学の基礎から疾病予防まで（第3版）（小山勝弘・安藤大輔／編著／三共出版／¥3,080／ISBN=9784782708453）
日程実施時間	7月11日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月12日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2684470	授 業 概 要	【授業内容】 山梨県立美術館は、1978（昭和53）年に開館し、開館時より19世紀フランスの画家ミレーとバルビゾン派の画家たちの作品を収集・展示してきました。本授業では、18～19世紀のフランス美術の流れ、ミレーとバルビゾンに集まった画家たちの作品、彼らに影響を受けた続く世代の画家たちについて学びます。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 山梨県立美術館の所蔵品を中心に、ミレーとバルビゾンの画家たちについて、19世紀フランス美術の流れを踏まえて、その特徴を理解し説明することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 新古典主義とロマン主義 第2回 リアリズムと自然主義 第3回 ジャン＝フランソワ・ミレー（1） 第4回 ジャン＝フランソワ・ミレー（2） 第5回 バルビゾンの画家たち（1） 第6回 バルビゾンの画家たち（2） 第7回 印象派の画家たち 第8回 まとめ：山梨県立美術館とミレーコレクション
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 山梨県立美術館のミレーコレクションは、明治期から日本でミレーが愛好されてきたことの証左と言えるでしょう。ではミレーやバルビゾンの画家たちは、19世紀のフランス美術の中でどのように位置付けられるのか、その歴史的背景とともに学びましょう。
科目名	美術史の中のミレーとバルビゾン		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	導入科目：人間と文化		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	220		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【参考書】 ・山梨県立美術館コレクション選（西洋美術編）（山梨県立美術館編集／山梨県立美術館／¥2,300）山梨県立美術館の1階の売店で販売しています。郵送での購入を希望される場合は、山梨県立美術館にお問い合わせください。 ・山梨県立美術館のミレー（山梨県立美術館編集／山梨県立美術館／¥1,300）山梨県立美術館の1階の売店で販売しています。郵送での購入を希望される場合は、山梨県立美術館にお問い合わせください。 ・西洋美術の歴史Ⅱ 19世紀 近代美術の誕生、ロマン派から印象派へ（尾関幸、棟岡めぐみ、三浦篤／中央公論新社／¥4,180／ISBN=9784124035971）
担当講師	オオタ トモコ 太田 智子 (山梨県立美術館・学芸員)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・山梨県立美術館における実地見学があります。・県立美術館までの往復交通費は自己負担となります。・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P5参照）・県立美術館の入館料（コレクション展大学生220円※学生証必要）は自己負担となります。詳細は山梨県立美術館webサイトをご確認ください。https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/info/
日程実施時間	5月9日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月10日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター（1日目）、 ★山梨県立美術館（2日目）		

科目コード	2684489	授 業 概 要	【授業内容】 世界の言語のなかで日本語はどのような特徴を持っているのでしょうか。この授業では、日常生活で私たちがあたりまえに使っていることばを、音声、文字・表記、語彙、文法といった観点から考察することで、日本語表現に対する理解を深めていきます。また、方言と共通語、待遇表現、世代差、ジェンダー差といった日本語のバリエーションについて学び、そこにある課題を批判的に検討していこうと思います。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 日本語の特徴を、音声、文字・表記、語彙、文法といったさまざまな観点から考察することで、日本語表現に対する感性を磨き、日本語を深く理解できるようになること。また、方言と共通語、待遇表現、世代差、ジェンダー差といった日本語のバリエーションについて学び、そこにある課題を批判的に検討できるようになること。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 日本語の音声・音韻一気持ちを表わす 第2回 日本語の文字表記—イメージを伝える 第3回 日本語の語彙と表現 第4回 日本語の文法一文の成り立ち 第5回 日本人の言語行動 第6回 方言と共通語—ことばの地域差 第7回 若者語を考える—ことばの乱れ？ 第8回 ことばとジェンダー—社会を変革する！
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 ことばやコミュニケーションに興味のある人、日々の生活で何気なく使っている日本語について考えてみたい人、日本語学という学問に触れてみたい人、ことばの面白さをともに味わってみませんか。
科目名	日本語学への招待		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。
科目区分	導入科目：人間と文化		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	220		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
担当講師	ナカモト コウイチロウ 仲本 康一郎 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	5月16日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月17日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2684500	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、英語学習のメカニズムを自分のこれまでの英語学習との関係で考えていきます。授業の中では英語習得のメカニズムも講義しますが、それを踏まえて是非、自分の英語の学習方法を今一度反省し、より有効な方法を発見して、それを実行してもらいたいと思います。そのために、学習者の英語学習の心理的側面や、日本人にとって英語習得がなぜ難しいかの困難性の原因についても詳しく触れます。最後に、英文のテキストを味わい、英語を学習する楽しさと必要性を実感してもらいます。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 英語学習について基本的な理論（第二言語習得論）を理解し、その理論に基づく4技能の英語活動に参加できて、ある程度の成果を上げることが出来る。さらに、英語の学習者要因等、英語学習に対する自己の目標や動機を考えた上で、自分に合った学習法を発見し、自律した学習者になれる。また、英語の技能を向上する練習方法にも習熟すること。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 授業のガイダンスと過去の英語学習の反省と議論 第2回 英語学習と私（英語学習の基礎理論の講義） 第3回 日英語の文化比較・英語リーディング技能について 第4回 英語の語彙習得・語彙学習と自分に合った学習方法 第5回 英語のリスニング技能のメカニズム（パート1） 第6回 英語のリスニング技能のメカニズム（パート2） 第7回 英語習得における学習者要因について 第8回 英文テキスト講読演習（1つテキストを選んで読みます。前日に予習をお願いします）
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 自分の英語の勉強方法を反省しながら、自分に合った英語の有効的な学習方法をこの授業を通して考えてみましょう。この授業ではその他、英語習得や英語学習に関する基本的なメカニズムを押さえながら、基礎的な英語技能の訓練も行います。
科目名	英語基礎 —適正学習法開発—		【受講前の準備学習等】 授業の最初に過去の自身の英語学習の反省と課題を述べてもらいますので、この2つについてよく考えておいてください。また、授業の最後に、今後の自己に合った学習方法についても発表をしてもらいたいと思いますので、併せてよく考えておいてください。
科目区分	導入科目：人間と文化		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	220		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート、辞書
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	フルヤ タカオ 古家 貴雄 (山梨大学・名誉教授)		【参考書】 ・英語学習のメカニズム（廣森友人／大修館書店／¥1,600／ISBN=9784469246650） ・新版 外国語学習に成功する人、しない人（白井恭弘／岩波書店／¥1,540／ISBN=9784000297301）
日程 実施時間	6月27日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月28日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター	【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。	

科目コード	2684497	授 業 概 要	【授業内容】 本講義は、インドで始まり、中央アジアを経て東アジアまで伝播した仏教が、2500年後の現在においてどのような意味を持つのかについて講義します。それにより、仏教思想の知識を身につけるだけでなく、それが現代社会にどのように役立つものなのかという見地で仏教を学びます。また、日蓮宗の総本山である身延山久遠寺での朝のお勤め（朝勤・ちょうごん）の体験学習や宝物館研修を通して仏教の歴史文化についても学びます。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 仏教思想の基礎知識を理解し、仏教の歴史的展開を説明することができる。また、その知識に基づいてさまざまな社会問題（宗教問題・環境問題・人権問題・紛争問題など）に対して提言できるようになる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 アジアにおける仏教の伝播（1） 第2回 アジアにおける仏教の伝播（2） 第3回 仏教思想の現代的意義（1） 第4回 仏教思想の現代的意義（2） 第5回 仏教実践の体験学習 第6回 仏教思想の現代的意義（3） 第7回 仏教思想の現代的意義（4） 第8回 宝物館研修
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 2日目の早朝（4時30分起床）身延山久遠寺にて朝勤の体験学習を行います。なお、開催地は山の中腹に位置しているため、講義及び体験学習等の際は、片道約20分ほどの急な坂道や階段を徒歩により移動しますので、ご承知おきください。
科目名	現代からみる仏教		【受講前の準備学習等】 簡単な仏教の入門書を読んで、仏教に関する基本用語を辞書で調べておいてください。
科目区分	導入科目：人間と文化		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	220		【受講者が当日用意するもの】 参加費用：9,000円（宿坊の宿泊代1泊2食分です。）身延山大学（宿坊）までの往復交通費は自己負担となります。
定員	35名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	モチツキ カイエ 望月 海慧 (身延山大学・学長)		【参考書】 ・ 仏教福祉と家族問題（身延山大学仏教学部／山喜房佛書林／¥770 / ISBN=9784796307918） ・ 岩波 仏教辞典 第三版（中村元他／岩波書店／¥9,900 / ISBN=9784000803236） ・ 教養としての仏教思想史（木村清孝／筑摩書房／¥1,265 / ISBN=9784480074300）
日程 実施時間	5月23日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月24日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	★身延山大学及び宿坊「樋澤坊」（山梨県南巨摩郡身延町身延3567及び身延町身延3600）	【留意事項】 ・ この授業は、時間を変更して実施します。 ・ 授業会場：身延山大学及び宿坊 ・ 宿泊場所：宿坊「樋澤坊」TEL：0556-62-0050 ・ 宿泊は、数人の相部屋になります。 ・ 受付：宿坊「樋澤坊」で行います。 ・ 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照） ・ 受講者には、5月初旬を目途に詳細について通知します。	

科目コード	2684527	授 業 概 要	【授業内容】 学校教育のなかでは、不登校やいじめ、非行といった様々な課題が顕在化しています。発達特性を抱える児童生徒の理解と対応も喫緊の課題となっています。学校教育の課題を心理学の観点から考察し、子どもの支援の在り方を学習します。また、学校教育をつくりあげている社会が抱える課題についても目を向け、学校教育に留まらず、私たちが生活する社会に存在する課題を考察し、支援の本質を理解し、実践する資質を高めることを目的とします。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ・学校教育で生じている諸課題について理解し、子どもの支援の在り方を考えることができる。 ・学校教育をつくりあげている社会が抱える課題について理解し、今後必要な支援について自分事として考えることができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 学校における「問題行動」の現状（いじめ・不登校・暴力行為・自殺・中途退学） 第2回 「みんなちがって、みんないい」と思える心理学（ニューロダイバーシティ） 第3回 多様な背景をもつ児童生徒の理解と支援（発達特性） 第4回 児童期と思春期の「こころ」（自己肯定感を育む支援） 第5回 不登校・ひきこもりの理解（背景の捉え方） 第6回 不登校・ひきこもりの支援（社会的自立に向けて） 第7回 いじめの心理学（争いの循環を断ち切る修復的対話） 第8回 まとめ
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 受講は教育現場での支援者に限りません。どなたでも受講いただけます。ワークを通して体験的に学習していただきますので、他の受講者と意見交流する心構えをしておいてください（配慮が必要な方はお申し出ください）。
科目名	スクール カウンセリング		【受講前の準備学習等】 ・学校教育に関するニュースを調べておいてください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 ワークシートへの記入を求めますので、筆記用具をご持参ください。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	タナカ ケンシロウ 田中 健史朗 (山梨大学・准教授)		【参考書】 ・カウンセラーの自己開示：迷える援助者のための羅針盤（田中健史朗／創元社／¥3,960／ISBN=9784422118475）
日程 実施時間	4月18日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月19日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・ポ・博 16:15～17:00		【その他（特記事項）】
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2684535	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では、ユング心理学の基礎を、昔話を素材とした討論を通して体験的に学ぶことをめざします。昔話はユング派の分析家のフォン・フランツによって「集合的無意識の心理的プロセスの最も純粋で簡潔な表現」と形容されているとあり、母元型、影、アニマ／アニムスなどが、物語のかたちで生き生きと表現され、心のインシエーションや個性化のテーマが展開していきます。昔話を味わい、イメージを用いて世界観を共有し、グループ討論を通して理解を深める演習となりますので、これらのワークに積極的に参加いただくことを期待しています。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 ユング心理学において心の深層のダイナミクスを説明する基本概念として「元型」をあげることができるようになる。このような元型の中でも、影、アニマ／アニムス、母親元型、童子元型、精霊元型等について、昔話を素材としたグループ・ディスカッションを行いながら、元型について生き生きとした理解を深める。この理解をもとに、ユング心理学理論を日常生活や芸術作品の理解に活用する。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 心を動かす昔話の力とその根源について 第2回 ユング心理学におけるイメージの活用と元型論入門 第3回 昔話の魔女とは何者か？ 第4回 男性の心を自立に導く女性の力を描く昔話を読む 第5回 女性の心の成長を描く昔話を読む 第6回 昔話におけるアニマ／アニムスのテーマと個性化 第7回 個性化をテーマとする昔話を読む 第8回 全体ふりかえり討論⇒学びの成果をまとめる
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 「精神分析とユング心理学」をすでに履修されて、ユング心理学に興味を持たれた方におすすめの内容ですが、この科目を履修されていない場合も受講可能です。
科目名	昔話から学ぶ ユング心理学演習		【受講前の準備学習等】 インターネットのグリム童話一覧のHP：グリム童話の一覧ーグリム童話 (grimmstories.com) あるいは、岩波文庫等のグリム童話集より、①自分のお気に入りの話、②これまで読んだことはなかったけれど、おもしろいと感じた話を、それぞれ一つ、挙げられるように準備しておいてください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 描画課題がありますので、色鉛筆、クレパス・クレヨンなどお気に入りの彩色ツールの持参を推奨します。（当日、講義室で12色クレヨンの貸し出しも可能です）
定員	40名		【教科書】 ・精神分析とユング心理学ー心の深層へのアプローチ（吉川眞理・田中健夫／放送大学教育振興会／¥3,300／ISBN=9784595323874）
担当講師	ヨシカワ マリ 吉川 眞理 (学習院大学・教授)		【参考書】 ・定本 昔話と日本人の心 岩波学術文庫 349（河合隼雄（河合俊雄編）／岩波書店／¥1,760／ISBN=9784006003494）
日程 実施時間	4月18日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月19日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・ポ・博 16:15～17:00		【その他（特記事項）】
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2679183	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「ミューラー・リヤー錯視」、「心理尺度」、「対人魅力」の3種類です。原則として8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようにする。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 ミューラー・リヤー錯視1：実験 第3回 ミューラー・リヤー錯視2：データの処理と解説 第4回 心理尺度1：実験 第5回 心理尺度2：データの処理と解説 第6回 対人魅力1：実験 第7回 対人魅力2：データの処理と解説 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。なお、紙媒体でレポートを提出した方で返却を希望する方は申し出てください。また、レポートに関するコメント等は行いません。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)		
日程 実施時間	5月30日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月31日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		
実施会場	山梨学習センター		
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。 ・Excelが必要。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・筆記用具 ・定規 ・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。また、セキュリティを最新のものに更新しウイルス対策を行ってください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN＝9784762820465） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。	

科目コード	2679221	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における基礎的実験として「記憶範囲」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業にすべて出席し、3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション：心理学実験とは 第2回 記憶範囲：実験 第3回 記憶範囲：データ分析・レポート執筆指導 第4回 メンタルローテーション：実験 第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート執筆指導 第6回 要求水準：実験 第7回 要求水準：データ分析・レポート執筆指導 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを 사용합니다。基本的なパソコン操作（Word, Excelの計算や図表作成を含む）については、あらかじめ各自で習得していることが望ましいです。 【受講前の準備学習等】 WordやExcelの基本的な操作について確認しておくことをお勧めします。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。※事前に無線LAN利用申請を済ませてください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みの状況、およびレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows, macOS, ChromeOS等） 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。・Wordが必要です。・Excelが必要です。 4. その他 マウスを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	<small>オノダ リョウスケ</small> 小野田 亮介 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	6月27日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月28日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	山梨学習センター	

科目コード	2684543	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	社会経済の基礎	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	マツバラ リュウイチロウ 松原 隆一郎 (放送大学・特任教授)	
日程 実施時間	6月6日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月7日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	
【授業内容】 経済学の入門書は、「物々交換」に始まって経済学を概説しています。けれども人類学や民族学方面では、「悩ましいのはそのようなこと(注:物々交換からの貨幣の発生)が実際に興ったという証拠がないことであり、むしろそんなことが起こっていないことの方を膨大な量の証拠は示している」(D.グレーバー)と主張しています。それを受け、経済学は何を論じるべきだったのか、農業中心経済の構図、工業経済への道、社会主義の幻想と化石燃料の導入といった現在の経済への制度の推移と、経済学で用いられる概念の発生史を説明します。		
【到達目標】 市場経済がなぜ不安定になり、その状態が長期化するのか。市場経済において、なぜ価値ある過去の遺産が再開発で次々と消えていくのかにつき、説明することができる。		
【授業テーマ】 第1回 独創的だった中世の文化経済と市場の仕組み 第2回 アダム・スミスの発見と誤解 価格メカニズムと商品貨幣 第3回 信用貨幣の発生・展開・危機 第4回 農業経済から工業経済へ 工業経済のための社会転換 第5回 工業経済の特色と欠点 代替財と機械への資本投下 第6回 社会主義の失敗と資本主義の放任 第7回 不況期における共有資本の収奪 第8回 まとめ		
【学生へのメッセージ】 経済を狭く閉じて理解しない感性や知性を持つ受講生の積極的な参加を求めます。		
【受講前の準備学習等】 導入科目 松原隆一郎『社会経済の基礎』のテキストに目を通しておいてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【参考書】 ・社会経済の基礎(松原隆一郎/放送大学教育振興会/ISBN=9784595325199)		
【その他(特記事項)】		

科目コード	2684551	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	手書き文字の 整え方	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	シミズ フミヒロ 清水 文博 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	4月25日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月26日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	
【授業内容】 手書き文字を書く機会が減少するなか、毛筆実技を中心とし、手書き文字文化の歴史や伝統を再確認します。文字を整えて書くことの原理原則や、手書き文字と活字の違いについての基礎知識を確認し、現代社会と毛筆文字の文化にも目を向けます。		
【到達目標】 文字を整えるための原理原則を理解し、漢字や仮名を毛筆で書くことができるようになる。		
【授業テーマ】 第1回 漢字書体の成立と変遷 第2回 仮名の成立と変遷 第3回 点画の書き方 第4回 漢字字形の整え方 第5回 仮名字形の整え方 第6回 行書と行書に調和した仮名 第7回 作品制作 第8回 批評鑑賞と文字文化		
【受講前の準備学習等】 日常に使用されている手書き文字(印刷されたものを含む)を観察するなどして、手書き文字の書き方への意識を高めておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 書道用具一式(大筆・小筆、墨液、硯、半紙、下敷き、文鎮、新聞紙)		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】		

科目コード	2684519	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	新・組み込み ロボット入門		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	16名		
担当講師	トリアマ コウジ 鳥山 孝司 (山梨大学・准教授)		
日程 実施時間	6月20日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月21日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		【到達目標】 ・Arduino用いたセンサの読み込み、モータの制御、割り込み処理などの基礎知識を理解し、それらが正しく動作するプログラミングができるようになる。 ・実際に車両ロボットにライントレースなどができるようにプログラミングし、思い通りに動作させることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 組み込みロボットとは・開発環境の導入 第2回 LEDを光らせてみよう 第3回 直流モーターを制御してみよう 第4回 ロータリーエンコーダを用いて回転数を制御してみよう 第5回 自動車型ロボットに乗せて動かしてみよう 第6回 超音波センサーで衝突回避をしてみよう 第7回 ライントレースをしてみよう 第8回 自動車型ロボットをさらに発展させていくには何ができるか？ 【学生へのメッセージ】 理解度に合わせて進めるペースを調整します。操作方法などわからないことがあればその都度対応しますので、楽しんで学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 ・プログラミングの解説はするので、事前の勉強は必須ではありませんが、説明時に何を言っているか理解できるよう、セミコロン「;」、カンマ「,」といったASCII文字の読み方の学習はしておいてください。 ・インターネットへの接続は必須ではありませんが、トラブルの対応や、応用的な取り組みを自分で検索して取り組むなどができるので、準備をお勧めします。 ・学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ※事前に無線LAN利用申請を済ませてください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windowsが推奨です。MacOSでも可能ですが、トラブル回避のため、事前に相談してください。 3. ソフトのインストール Arduino IDEのインストールが必要です。当日インストールするので、インストールに必要な管理者権限をできるようにしておいてください。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。当日に、制御用のプログラムを行うためのソフトウェア（開発環境）をインストールします。その際、ノートパソコンの管理者権限が必要になります。良くわからないという方は予めご相談ください。
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2681307	授 業 概 要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
学習センターコード	19A		【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】
クラスコード	K		を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
科目名	POV-Ray プログラミング		近年のコンピューターの発達によって、レイトレーシングによる高精細で複雑な照明効果が反映されたグラフィックス画像を一般的なコンピューターでも簡単に作成できるようになりました。この講義では、POV-Rayと呼ばれるソフトウェアを利用してグラフィックス画像作成やプログラミングの実習を行います。
科目区分	専門科目：情報		【到達目標】 基本的なプログラミングについて理解し、POV-Rayを用いた3次元CG画像を作成できるようにする。
ナンバリング	320		【授業テーマ】 第1回 POV-Rayの操作 第2回 基本形状、色、テクスチャ、空、地面 第3回 質感、拡大縮小、回転、平行移動 第4回 光源、CSG、自由テーマによる画像作成 第5回 カメラ、光源、虹、霧、フォント 第6回 アニメーション、POV-Rayプログラミング 第7回 Pythonとの連携、Google Colab 第8回 自由テーマによる画像作成、課題提出
定員	20名		【学生へのメッセージ】 本科目は学生が自分のパソコン等を持参して受講する方式（BYOD：Bring Your Own Device）の「BYOD科目」です。授業内容は、以下のWebサイトも参考にしてください。（ https://sites.google.com/view/oujrt ）
担当講師	ススキ モトフミ 鈴木 一史 (放送大学・教授)		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の菜」をご参照ください。※事前に無線LAN利用申請を済ませてください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
日程 実施時間	5月16日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月17日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	山梨学習センター		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windowsが必要です。（ただし、プログラミングの経験があり、自身でコマンドラインのPOV-Ray実行環境を構築し実行できる場合は、MacOSやLinuxを利用してもかまいません。事前に動作確認をしてください。） 3. ソフトのインストール 講義ではWindows版POV-Ray3.7（無料）を利用します。受講前にPOV-Rayをインストールして動作確認をしてください。公式ページ（ http://www.povray.org/ ）。インストール方法については、Webサイト（ https://sites.google.com/view/oujrt ）等を参照してください。 4. その他 課題の作品はメールまたはGoogleフォームで提出するため、放送大学システムWAKABAのアカウントにログインできるようにしてください。パスワードを忘れた方は再設定をしてください。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・POV-Rayで学ぶ はじめての3DCG制作（松下孝太郎、山本光、柳川和徳、鈴木一史、星和磨、羽入敏樹／講談社／¥2,640／ISBN=9784061538276） 授業当日に資料配布のため本購入は不要です。発展的学習のための参考書です。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2684560	授 業 概 要	【授業内容】 なぜ雨が降るのでしょうか？雨と雪は何が違うのでしょうか？雲の中の水滴は、なぜ落ちてこないのでしょうか？降水に限っても不思議なことがたくさんあります。そこで身近な自然現象である天気に関する仕組みについて学びます。また、雪の結晶成長実験を行い、降水に関する知見を深めつつ、自然の造形美に触れます。さらに、大気に関わる地球環境問題について理解を深めるとともに、担当講師の南極観測隊での体験を交えながら、南極と地球環境との関わりについて学びます。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 講義で扱った気象学に関する様々な現象（雨が降る仕組み、風が吹く仕組み、寒暖が生まれる仕組み）の基本的な原理を理解し、説明することが出来る。さらにこれらの現象の気象学における重要性についても説明することが出来る。また、大気に関わる地球環境問題のメカニズムを理解し、説明することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 地球の大気の特徴 第2回 雨が降る仕組み(1) 第3回 雨が降る仕組み(2) 第4回 雪の結晶成長実験 第5回 風が吹く仕組み 第6回 寒暖が生まれる仕組み 第7回 大気に関わる地球環境問題 第8回 南極と地球環境
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 気象学を理解するためには物理学の知識が必要となりますが、なるべく数式を避けて平易に説明いたします。講義中に様々な質問を投げかけます。積極的な回答を期待いたします。
科目名	初歩の気象学		【受講前の準備学習等】 日々の空の様子を改めて眺めてみてください。不思議なことがたくさんあると思います。その疑問をもって講義に臨んでください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【参考書】 ・一般気象学 第2版補訂版（小倉義光／東京大学出版会／¥3,080／ISBN=9784130627252） ・百万人の天気教室（白木正規／成山堂書店／¥3,630／ISBN=9784425513529）
担当講師	コバヤシ ヒロシ 小林 拓 (山梨大学・准教授)		【その他（特記事項）】
日程 実施時間	6月6日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月7日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2684578	授 業 概 要	【授業内容】 「タンパク質」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？筋肉や栄養素などを連想するかもしれませんが、しかし、私たちの体内には何万種類ものタンパク質が存在し、それぞれが固有の役割を果たして生命活動を支えています。ではなぜ各タンパク質が個別の機能を持つのでしょうか？その秘密は「ナノメートルの世界の造形美」ともいえる立体構造にあります。本授業の前半では、タンパク質の構造の基礎を学び、後半では立体構造データベースを用いて多様なタンパク質を観察し、構造と機能の関係をグラフィックスを使って視覚的に理解します。
学習センター	山梨学習センター		【到達目標】 タンパク質の構造の基礎を理解し、構造と機能の関係を立体構造の観点から説明することができる。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 タンパク質とは何か？～ノーベル賞研究から理解する～ 第2回 タンパク質はどのように形作られるのか？ 第3回 タンパク質の構造はどのように知ることができるか？ 第4回 タンパク質を結晶化すると構造が見えます（X線結晶構造解析） 第5回 タンパク質ギャラリー（1）DNAを複製する巨大ファクター 第6回 タンパク質ギャラリー（2）遺伝子発現は精巧に制御されている 第7回 タンパク質ギャラリー（3）私たちは分子モーターのおかげで動くことができる 第8回 タンパク質博物館（データベースへの招待）
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 タンパク質の構造機能相関を詳しく理解するためには生化学の知識が必要となりますが、過度に専門的とならぬよう、平易な説明を心掛けます。
科目名	形と働きの関係 から蛋白質に迫る		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 ノートPCを持参していただくと、授業時にグラフィックスにアクセスすることで、内容の理解が深まります。PCがなくても授業内容の理解は十分可能です。持参の場合は、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。※事前に無線LAN利用申請を済ませてください。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	オオヤマ タクジ 大山 拓次 (山梨大学・教授)		【参考書】 ・構造生物学（これからの生命科学）（樋口芳樹・中川敦史／共立出版／¥4,070／ISBN=9784320057012） ・入門構造生物学（高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター／共立出版／¥4,180／ISBN=4320057043）
日程 実施時間	6月20日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月21日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		【その他（特記事項）】
実施会場	山梨学習センター		